

121

特254

656

武藤山治序

金輸出禁止國スペインの經濟事情

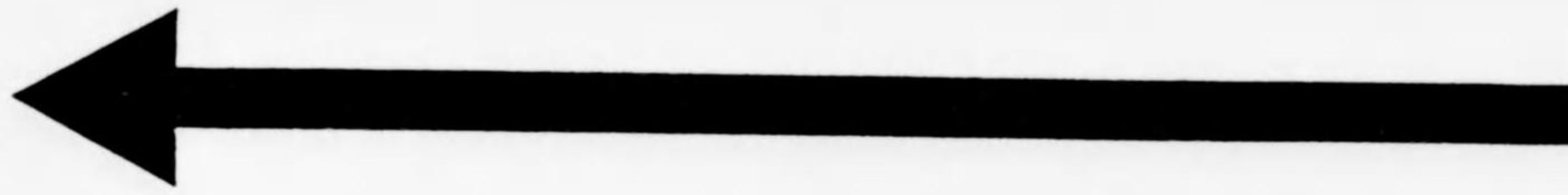
附錄

金輸出再禁止國アルゼンチン並に濠洲の經濟事情

國民同志會調查部編



始



序

現今世界の政治經濟は二つの相異りたる財政的見解に依て二分されて居る。其一は時代に適合せざる舊弊なる財政方針に出でたる時代錯誤な見解であり、其二是時代的要求の實際に適合する所の財政方針を生む見解である。之を歐洲戦後世界の各國が夫々の貨幣制度整理に採りたる方針と處置に付て言へば、英、米、日本の諸國が採りたる舊平價金解禁政策の如きは前者に屬するものであり、佛、白、西の諸國が採りたる新平價金解禁若くは新平價金解禁を目的とする金輸出禁止續行政策の如きは後者に屬するものである。

之等の相異りたる政策實施の結果を見るに前者の國々に於ては何れも大失業問題を惹起し、國を擧げて不景氣の渦中に苦しんでゐる。之に反して後者の國々に於ては殆んど一人の失業者も無く國を擧げて繁榮の喜びを享受してゐる。言換へると舊



平價金本位への復歸が齎らすと見られたる所の「一切の實利實益は」、事實に於て新平價切下解禁國若くは金輸出禁止續行の國に於て享受され、金輸出禁止國或は新平價採用國が受くると見られたる一切の「不利と損害」は事實上、却て、舊平價金解禁國に實現してゐるのである。寧ろ好景氣を齎らすべかりし舊平價金本位は不景氣と失業を齎らし、不景氣と爲替不安を齎らすべかりし金輸出禁止は却て好景氣と爲替の安定を齎らしてゐるのである。例へばスペイン國の如きは今日に到るも尙金輸出禁止を繼續してゐるに拘はらず、國中一人の失業者も無く苟くも職を求めんと欲する者は隨所に好みの職業に就き充分の報酬を得る事が出来るのである。而して又其爲替相場は金輸出禁止下に於て次の如き安定を維持し來たれる事は英國エコノミスト誌統計指數の示す所である。

一九一三年	一〇〇	一九三〇年	
一九二五年	一八八	一月	一七二
一九二六年	一八一	二月	一七二

一九二七年	一七二	三月	一七二
一九二八年	一六二	四月	一七二
一九二九年	一七一		

斯の如き事實の前にて所謂舊平價金本位の御利益、金解禁に依らざれば得られぬといふ爲替の安定、國家體面説などの難有さといふものが朝日の前の露の如くに消えてしまふのである。

近頃政府側の宣傳に新平價解禁國佛蘭西には今や不景氣の風吹き初めたるにあらずや、又スペインの爲替は暴落したるにあらずやと伝えられるが、斯の如きは全く事の真相を究めざる淺見に外ならぬ。若干の景氣不景氣は商賣の常である、佛國は新平價解禁に依て今や米國に次ぐ世界の最大金保有國と成り濟まし、多少不景氣風の吹き廻しがあつても佛國民は我國民の今日感じつゝ、あるような痛痒を感じない。佛國は、巨万の貯蓄を爲したる労働者と同様である。スペインの爲替暴落は井上藏相の誤つて考えらるゝような金輸出禁止や解禁不斷行の罪ではないのみならず、ス

ペインは其爲替下落の爲めに、他の國々が二十五ヶ年間を費して辛うじて得た所の
大富と物質上の大進歩を僅々數年に於て獲得したとさへ言はれてゐる。爲替の下落
の憂ふべきはその爲に一國が損をする場合である。スペインの財政状態は其不換紙
幣一〇〇に對し金貨準備一〇〇を中央銀行に保有しつゝ、あつて其豊富なる状態は英
米以上である。以て知るべし、スペインは何を苦しんでか形式的舊平價解禁を取急
ぐの愚に出でざりしやを。近頃スペインの爲替の暴落したるは内亂まで起した國內
政情の不安定が原因である。若し日本でも同じような政情の不安定が起つたら同様
の結果を起すことは見易いことである。珠數ばかりで和尙は出来るものではない。
思ふに前きに述べたる所の舊弊政治家や政治家は佛作つて魂を入れるを忘れた者で
あり、其國をして見かけばかりの空大名たらしめた者である。

我國舊平價解禁後一年、今や其失敗は何人にも蔽ふべからざるものがあるに拘は
らず、猶無理を通さんとする濱口内閣は中押負けの碁を最後まで打上げんとする碁
打と同様である。打てば打つほど其失敗を重ね行く外ない。
然るに財政當局者たる井上藏相は己れの誤つた經濟政策辯護のためあらゆる宣傳
に努めてゐるが、經濟界の問題は實數の問題であつて口舌に依つて左右することは
出来ぬ。本小冊子は近頃スペイン國の例を引いて金輸出禁止の不利を説く井上藏相
の誤りを一々指摘したもので、世の本問題研究者に多少共参考になれば仕合せであ
る。

昭和六年一月

武藤山治

目次

一、無責任極まる井上蔵相の海外經濟觀……………	一
二、誤れる井上蔵相のスペイン國經濟觀……………	二
三、スペイン國財政經濟の實際……………	三
四、金輸出禁止下に好調を續けたるスペイン爲替相場と暴落の眞因……………	四
五、石油業の國營と爲替相場の下落……………	七
六、スペイン國外國爲替問題に對する權威ある諸外國新聞の見解……………	一〇
七、スペイン國制定の中央爲替管理の制度と其運用の實績……………	一四
八、スペイン蔵相の貨幣中央統制局設置に關する聲明……………	一五
九、スペイン外國爲替中央統制事業の進捗と諸外國新聞並に米國官憲の所見……………	一八

附 録

金輸出再禁止を行ひたる南米アルゼンチン國の經濟事情に就て…………… 二

金輸出禁止國濠洲の經濟政策に對する井上蔵相の感違……………

(雜誌經濟知識に掲載の分再録)…………… 二六

一、無責任極まる井上蔵相の海外經濟觀

井上蔵相は昨年十一月二十五日大阪實業家の組織する經濟更新會の時局問題懇談會の席上に於て、金輸出再禁止並に平價切下問題に論及して曰く、金輸出再禁止説が一部に唱へられてゐるが、我國がもし輸出禁止のまゝで今日まで來てゐたらどうなつてゐるであらうか、スペインは正貨準備も多く貨幣制度も我國とよく似てゐるが、解禁を斷行し得なかつたため今日では爲替が半分に下り遂に爲替管理の已むなきに至つた。本年一月より五月に至る世界的不景氣の襲來の事情を考へ、しかも爲替がスペインの如く半分に暴落してゐるものとすればどうして工業が維持出來やう……………爲替が半値に下つたとすれば、物價は一時は倍に騰貴するかも知れぬが、それは永續するものではなく海外に賣つて得られる金は元と同じとならう。現在のまゝやつて居れば萬策が盡きるといふことはあり得ない。もしありとすれば政局不安で内地の資金が海外に逃避することがあるのみである。……………と述べ、如何にも自らの金輸出再禁止反對説がスペインの爲替暴落の事例に依て裏書されてゐるかの如くに説いて居られるが、苟もスペインペセタ爲替の下落の實情を知る者は、如何に井上蔵相の所説が事實に依て立證されぬ我田引水の謬論であるかを容易に知り得る所であり、且つ苟も一國の蔵相たる責任ある地位に在る者が、其の意見を公開の席上に於て開陳するに當り、其意見を確めるために引用する海外諸國の實例をば全く誤解し、極めて皮層的に

之を取扱ひ以て公衆を誤信に導くが如き事は實に捨て置き難き不行届の事である。所謂一寸延びれば尋とやらであつて、我國の藏相が一國の重大問題に論及するに當り、世界經濟の實情を看取するに一再ならず誤解を繰り返す（南米アルゼンチン國の經濟事情と濠洲經濟政策破綻の真相に就ては附録として掲載する）が如き事は、實に國家の爲め危険極まる事である。

依て左に井上藏相が前記の如き金輸出再禁止反對論の論據として引用せられたるスペイン爲替暴落の真相を述べて氏の謬見を訂し、併せて昨年末金輸出を再禁止せる南米アルゼンチン國其後の景氣好轉實況を述べ、如何に井上藏相の世界經濟觀の誤れるものあるかを示さう。

一、誤れる井上藏相のスペイン國經濟觀

スペイン國は井上藏相の言ふが如くに金解禁を未だ行つて居らぬ國である。然るに井上藏相の想像とは全く相異つてスペイン國はベルギー・フランス同様世界的不況の影響を蒙ること最も僅少にして、金解禁を行はざるに拘はらず、殆んど一人の失業者も無き經濟的好況を續けてゐるのである。之は最近我國に赴任したるスペイン國領事の言明に依て明らかであり、其他同國經濟情報が夫々示してゐる事實である。此拒むべからざる事實の前に井上藏相は何故に金の輸出禁止續行が事業界の破綻を齎らすと言ふか。

二、スペイン國の財政經濟の實際

スペイン國は一種の復本位國であつて、銀貨にも一定の制限を附して法貨（五ペセタ貨に限り）としてゐる國であるが、其政界の腐敗せるに拘はらず、同國の財政經濟政策は比較的穩健であり且つ積極的であつたのである。則ち同國は金輸出禁止下に於て、紙幣の濫發も行はず通貨膨脹政策も採らずして正貨準備最も豊富であり、發行紙幣高四、三三五、〇〇〇、〇〇〇不換ペセタに對し中央銀行は金貨二、四四八、〇〇〇、〇〇〇ペセタ、銀貨七二三、〇〇〇、〇〇〇ペセタの正貨準備を持つてゐる現狀である。此正貨準備の割合は、既に金解禁を行ひ貨幣の安定を得たる諸外國よりも遙かに大であつて、英國の正貨準備割合よりも大である。

又同國の國債高を見ても、一九二〇年度の公債總額一二、六五〇、〇〇〇、〇〇〇ペセタなるが其一九三〇年現在に於ける總額は二〇、〇五〇、〇〇〇、〇〇〇ペセタにして過去十ヶ年間に僅かに七、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇ペセタを増加したるに過ぎず、從てスペイン國民一人當りの國債高は僅かに九九九ペセタであり、利拂負擔高は四一ペセタに過ぎぬのである。之をスペイン同様歐洲戰爭に於て中立國たりしスキツツル國民の一人當り國債負擔高一、二四一フラン、利拂負擔高三八七フランに比するも遙かに少なく、又英國國民の一人當り國債負擔高（一六三磅、利子七磅）に比せば實に七分の一に過ぎないのである。

國民負擔最も
輕し

豊富な金準備

豫算の均衡歳入の自然増加

國民貯蓄の激増

更にスペイン國の財政状態を見るに其豫算額は近年大に増加して居り、其歳出は甚しく膨脹すと雖も、其歳入は之に應じて増加し豫算は立派に均衡を保つてゐる。しかも國民負擔の僅少なること前記の如くにして、之は同國商工業の殷振を示すものである。現に一九二〇年度に於ける營業收益税所得税の被課税者總數は四拾萬人であつたのが、一九二八年度に於ては實に六拾參萬人に増加してゐるのである。又一九二〇年度に於ける貯蓄銀行預金者總數は百四拾貳萬壹千人其預金總額九三九、〇〇〇、〇〇〇ペセタなりしもの一九二九年度に於ては參百〇九萬壹千人に達し、其預金總額は實に三、〇二〇、〇〇〇、〇〇〇ペセタに達し、預金者數に於て二倍半、預金高に於て三倍三分強に激増してゐるのである。

井上藏相は金輸出禁止續行下のスペイン國に於ける此嚴然たる事實の前に、自らの皮層的觀察と謬見とを尙固執し得るや否や。

四、金輸出禁止下に好調を續けたる スペイン爲替相場と暴落の眞因

井上藏相はスペインが解禁を斷行し得なかつたために爲替が半分以下落したのであると述べてゐるが、スペイン爲替相場は金輸出禁止下にありながらも、其の財政經濟政策の良好なりしために一九二〇年の頃、歐洲諸國の爲替相場一般に大下落を起せる時期に於ても、平價以上のプレミ

金輸出禁止下に於ても爲替は安定す

アムを示しつゝ、三年前即ち一九二七年に到るも尙平價に極めて近き相場を維持し得てゐたのである。則ちスペインペセタ貨の平價は英貨磅に對し二五・二二ペセタであり、米貨弗に對して五・一八ペセタであるが、僅かに三年前迄はオーブン・マーケットに於てすらペセタ貨は英貨に對して二六・八〇、米貨に對して五・五〇を稱へてゐたことは、全く之れ金輸出禁止下に於ても、一國の財政經濟政策と商工業の狀況並に貿易干係にして良好なる以上、何等憂ふるに足らざるものであり、且つ金輸出禁止そのものは國家經濟の實體にして健全なる以上、何等大なる激變を爲替相場に來すものにあらざる事を示すものである。

爲替暴落の眞因

斯の如く金輸出禁止下にも長年好調を續け來れるスペイン爲替相場が、何故に數年來除々落調を示し出し、最近に到りては英貨に對し四五・四〇、米貨に對し一〇・九〇といふ暴落を來たしたるや、それは決して井上藏相が輕卒にも自說擁護の爲めに金解禁斷行をスペインが行はざりし爲めといふが如きは眞因ではないのである。

英國を始め歐米の専門家中には、スペイン爲替相場の下落を以て金輸出禁止に歸して居る者は一人も無く、斯の謬見を抱く者は歐米の經濟實情に暗き吾井上藏相一人あるのみである。

抑もスペイン國政界の腐敗は周知の事實であるが、嘗て二院制度を布いた同國は政界の腐敗改

まらず、遂に一九二三年、プリモ・デ・パレラ將軍の獨裁政治を現出したのである。その爲めスペイン國の政黨政治は一時其跡を絶ち、パレラ將軍は一舉にして從來の政界腐敗の廓清を行ふ爲めに種々の改革を斷行して國費の節減を行ひ、「七ヶ年改革案」を聲明し續々と改革の實を擧げて來た。然るに三年後に及びて、國政改革産業組織改造等に關する國費増加の必要を見、一九二七年の頃よりスペインの國家財政は膨脹を告げ出し、特別會計に於ては甚だしき放漫なる財政政策が行はれ出したのである。例へば國營事業の開始、國家の産業管理規則の制定、其他凡ゆる商工業に對する保護政策の採用が行はれた事は、恰も彼の濠洲に於て過激なる労働黨内閣が其誤れる政策、極端なる保護政策や國營事業を實行し始めたると同様であつた。加ふるにパレラ獨裁内閣は時ならずも一億七千萬圓の金貨公債を募集したのである。

放漫なる財政
は爲替を下落
せしむ

此放漫なる軍閥政治家の誤れる財政經濟政策こそ、實に一九二七年即ち三ヶ年以前からスペイン國の爲替相場をして落調に導き出したものであることは、右獨裁内閣に蔵相たりしカルボ・ステラ氏が最近紙上に述べて居る所に依て明白である。即ち

「パレラ獨裁内閣は其終末に於て放漫政策を改むる必要を感じたが、時既に遅く幾多の誤りたる政策既に實行され、その爲めにスペイン爲替相場は下落し始めたのである」と明言してゐるのである。即ちスペイン爲替相場の落調は經濟的原因にあらずして斯の如き政治的原因に發してゐるのである。勿論斯の如き政治的原因が爲替相場を動かすに當りては經濟的作用を起すものであつ

爲替の暴落は
政治的原因に
依る

て、斯の如き政治的原因に依て生じたるスペイン經濟界の變動は、外國資本流入を政府が阻止する方針に出でたる結果生じたるベセタの下落、並に石油輸入業を政府が國營化するの擧に出でたる結果、政府は莫大なる斯業買収費の内外支拂並に關稅收入の途絶を餘儀なくされ、更にベセタ爲替の下落を惹起したのである。

五、石油業の國營と爲替の下落

無謀なる國營
事業

スペイン政府が石油業を國營に移す迄は、同國の石油は殆んど全部各國の大規模なる石油會社に依りスペイン市場へ自由競争下に供給されてゐたのである。スペイン内地には石油を産せざる爲め、スペインは必然諸外國より斯の如くに大量の輸入を行ひ、激烈なる石油輸入の競争は内外の大會社に依て行はれ、爲めに國民は極めて廉價に石油の供給を得て居り、政府は莫大なる關稅收入を石油の輸入に依り得て居つたのである。而して石油業は悉く内外の大石油會社に依て支配されてゐたのである。從て之等の大會社は必然スペインベセタ爲替相場の好調と其維持に大なる利害干係を持つて居た事は當然である。然るに一朝スペイン政府が之等の石油輸入業を國營に移すや、政府は茲に莫大なる賠償金を内外の大石油會社に支拂ひたる上、斯業經營に必要な資金の調達、並に諸外國よりの買入費用を悉く據出するの必要に迫られ、從來の巨額なる關稅收入全部を失ふに到つたのである。

斯の如き不經濟なる政策を實行するに到れるスペイン獨裁内閣は、之が爲め一億七千萬圓の負擔を國民に課するに到つたのであつて、遂に其聲望を失墜したるのみならず、政治的に又經濟的に此石油事業の國營化がスペインの爲替相場下落に大なる影響を起したる事は、藏相カルボ・ステラ自らの言明する所であり又歐米専門家の認めてゐる所である。

最近の暴落は政局の不安定から

歐米の専門家はスペイン爲替相場の暴落を以て單なる一時的現象と見做して何れも樂觀してゐると同時に、スペイン國の好景氣と財政内容の充實せる事實に徴して最も研究に値する興味深き現象と見てゐるのである。而して從來スペイン爲替相場下落の原因をば次の三つの理由に歸してゐる。

(一) ベセタ爲替相場の投機的策動

(二) 石油業國營に依る海外支拂の激増と豫算不均衡に對する信用の失墜

(三) 政治的不安

然しながら最近に於けるベセタ相場の激落は、バレラ軍閥獨裁内閣遂に倒れ、ベレン、クエル將軍を首班とする臨時内閣の出現を見、スペインの政局の極めて不安定なる狀況を呈しつゝあるに際し、同國共和黨は長年の壓迫より反動的に蹶起し、國王の廢位を叫び、殆んど内亂をも惹起さ

んとするが如き事象を現出し、臨時内閣を間に狭みて勤王、共和の兩黨相對峙して總選舉に臨まんとする暗澹たる不安の政局を演じ、臨時内閣は獨裁軍閥内閣に依る放漫政策の後を繼ぎて頻りに財政の整理に従事しつゝありと雖も、政局前途の不安を思ひて未だ斷乎たる財政刷新の舉に出で得ざる現狀は、遂にベセタ爲替相場をして異常なる暴落を、去る九月共和黨の蜂起、王位撤廢運動と同時に現出したのである。

斯の如き政治的事情に依てスペインのベセタ爲替相場が激落したる事は争はれぬ事實であつてスペイン駐在の歐米通信員は何れも「政治とベセタ相場の變動」に付て述べ、ベセタ貨の運命はスペインの政治に依て左右されてゐると論じてゐるのである。而して歐米の専門家はスペイン爲替相場は同國政界の安定に従ひ速かに回復すべき一時的現象なりと見てゐるが、現に一時四九・九五迄激落した所のベセタはベレン、クエル臨時内閣の堅實なる施政に依て漸次落付き月餘にして四二・ベセタ迄回復して來たのである。

急速なる爲替
の回復

以上の事實に依て吾々は如何に井上藏相が海外の政治經濟實情の理解に乏しく、其意見を立證する所の論據と事實が淺薄にして信を置くに足らざるものなるかを知る事が出来るのである。

吾々は更に一步を進めて井上藏相が輕卒にも、股鑑遠からずスペインに在りとして金輸出禁止と平價切下げ解禁反對意見を述べられたるに對し、政治問題を離れて經濟問題より見たるスペイン國が、金輸出禁止の續行下に於て、換言すれば金解禁延期の爲めに、如何に大なる利益を得た

るか、又解禁漸行の國々が世界的不況の渦中に投せられて蒙れる損害を如何に免れたるか、而して今やスペインが、機を見て平價切下解禁を實行するの方針に進みつゝある實情に就て、一々歐米専門家の所報に基き述べよう。

六、スペイン國外國爲替問題に對する 權威ある諸外國新聞の見解

獨自なる自動的財政策

有名なる英國のスタチスト誌(The Statist)は右に付左の如き見解を述べてゐる。
歐洲戰後各國が何れも其爲替の下落に依て損害を受けつゝある間に、獨りスペイン國は獨自なる自國救済の財政經濟政策を採り、以て適當にして充分なる國家財政の基礎を造りし事は他に其比を見ざる所である。

世界無比なる正貨準備

スペイン中央銀行(Banco de Espana)最近の統計に依るに、其金準備は九千八百万磅(九億八千万圓)に相當し、其發行紙幣總額四・四八七百万ペセタは現在の爲替相場(一九三〇年九月)を以て計算するに當り同行金準備高たる約九千八百万磅(九億八千万圓)に相當す。
斯の如きは、列國中其比を見ざる所の豊富なる正貨準備であつて、發行紙幣百圓に付發行銀行に於ては百圓の金準備を有してゐる次第である。

故にスペイン國は今當に其通貨の安定策を講ずるの好機にあるは疑なき所であるが、之が爲めに必要な事は那邊に於て其貨幣相場を安定せしむるかを決する事と、又其中央銀行に死蔵され居る所の金準備をば爲替準備に利用する事である。

從來スペイン國政府は其國爲替業をば自然の成行に放任するの方針に出で、居たが、今や政府は、斯くしてはペセタ爲替相場が各國の投機業者に依て落調に利用され政府はスペイン爲替相場の下落に同意するも同じき事を悟るに到つたのである。(筆者註、スペイン政府爲替中央管理局制定の部参照の事)

物價の安定

次にスペイン國の最近に於ける物價状態は一の興味ある研究に値する材料を示してゐる。則ち其公表の物價指數一九二八年度の最高一五七を示し、一九二九年度の最高は一七一にして、一九三〇年即本年九月迄の指數尙一七二並に最高一七三を維持してゐるのである。

時代の要求する新財政策

斯の如き數年に亘るスペイン物價の安定は何を語るかといふに、スペイン國は時代に最も適合したる財政經濟政策を採つたが爲めに、餘の金解禁漸行國が何れも蒙りつゝある物價の激落或は甚だしき不安定より、獨り能く脱がるゝを得たといふ事である。
斯の如き財政經濟政策は行詰れる世界の經濟界に新らしき進路を開く所の妙案たるを思はしめるのである。

金解禁を猶豫しつゝありしスペイン國は其下落したる貨幣を以て過去二ヶ年間に、金解禁漸行

為替下落の利
用

諸國よりも遙かに能く自國の物價安定を行ひ得たのである。斯くして、明らかに、スペイン國の商業は、金解禁斷行の諸國に於ける物價下落の反動たる困惑難關より自らを救ふ事が出来たのである。

スペインの産業報告は、同國の海外貿易は股振であり、内地商工業は何等世界的不況の影響に苦しむ事なきを示してゐる。

ベセタ貨の價格低下 (infravaloracion) はスペイン各般の經濟的活動の刺激と成り以て適當なる時機に於て内地商工業の保護と成つてゐるのである。

斯く觀察し來たる時、吾人は、次の通り結論することが出来る。即ち、スペインは失ふ所極めて少なく、得る所極めて多き以上の如き政策に依て、やがて金解禁實行を爲すべく、又其金解禁を行ふには其爲替相場が新たに或安定を來たすを俟て新平價の制定を以て之を爲すべきであると。スペイン國政府は恐らく其爲替問題に付ては吾人と所見を同じくするものと思ふれども、スペイン政府が忘却すべからざる事は、或時期に於て來るべき危險に對し用意周到たるべき事である。

失ふ所少なく
得る所多き巧
妙なる政策

世事に通ぜぬ
井上蔵相

思ふに井上蔵相は既に以上の如き明白なる海外の經濟實情にも通せず、又時代的要求に即應ずるところの財政的眼識を以て世界の經濟實情を見る事能はずして、「スペインの如く半分に爲替が暴落してゐるものとすればどうして工業が維持出來やう」といふ時代錯誤な謬見を、しか

も吾新進氣鋭なる大阪實業家の面前で述べてゐるのである。

次にロンドンタイムスのマドリッド駐在通信員の所報を記述せんに、

右タイムス通信員は、スペイン爲替問題を論述したる後其結論に於て「スペインは現在大發展に必要な一の危機に頻してゐるのであるが、同國は最近數年間に於て、世界の多くの國々が二十五ヶ年間を費して得たる物質上の進歩を獲たるものである」と述べ、更に

大發展に必要な
苦勞

「スペインの國費は必然或膨脹を來たし財政は逼迫してゐるが、大體に於て同國の經濟は極めて満足的なものであり就中、其商業貸借は能く相均衡し、内地の産業は灌溉事業の發達、水力電氣及鐵道、交通路の改良發達等に依て現在及將來の發展に充分なるものがある。

現在スペイン爲替相場は投機業者の策動と政治的不安に依て大に動搖しつつあるが、やがてスペイン政府は其豊富なる金準備の一部を利用して、其ベセタ貨の安定若くは新平價採用の舉に出づるものと思はる。而して斯の如き方法に出づるも、既に充分なる金準備を有するスペインは何等それに依つて損失を來たすことなかるべしと思はる。」と報じてゐる。

悠々として新
平價解禁に進
むスペイン

佛國新聞のスペイン經濟觀

巴里に於て最も權威あるランフォルマシオン紙 (L'Information) は次の通りの論説を掲げてゐる。

時代に順應した幣制改革の必要

「スペイン政府は明らかに新平價に依る解禁の方針に傾きつゝあると思はる。右に對する吾人の所見は次の通りである。如何なる問題が考慮されるとも、スペイン國が必然的に其ベセタ貨の平價を切下げて新平價の金解禁を行ふ事は或苦痛を伴ふとは言へ善意に於ける緊喫事である。と同時にそれは餘の國々に於て躊躇されつゝある幣制改革の理由の正しき事を暗に立證する事となるのである。一九二九年に財政家リスト氏が三九ベセタを以て爲替を安定せしむべしと述べたる所見は今日尙有效である。一度びスペインの爲替相場にして安定し信用の落着を見んか同國の將來に憂なし。」

倫敦市場に於けるベセタ相場は昨今四四・五〇を稱へてゐる。而してスペイン政府が設置したる爲替中央管理事業は既に、其業務に着手してゐるが、未だ其成績に付て所見を述べるには時期尙早である。然しながらスペイン國がやがて解禁を行ひ且つ其政局を整理すれば、スペイン國の經濟は既往よりも遙かに樂觀を以て之を見得ることは確かである。

七、スペイン國制定の中央爲替管理の制度と其運用の實績

中央統制の制度
一九三〇年九月六日、スペイン國政府は中央銀行たるスペイン銀行 (Banco de España) 内に貨幣中央統制局 (El Centro Oficial de Concentración de Moneda) を設置し、同年八月三十一日公

布の法令に従ひ、右管理局をして其手に海外貨幣取扱に關する一切の運用を集中取扱はしむることとせり。従てスペイン國に於ける同年九月十一日以後内國一切の貨幣取引は、中央銀行の適當なる取引先或は其代理若くは其支店にして何れもスペイン國內に開店營業する者に制限し、其他の銀行又は銀行業者は一切之を除外するものとす。

爲替統制官の職掌

海外諸國との貨幣取引は一切之を前記貨幣中央統制局に於て取扱ふものとす。爲替業務中央統制官 (El Regulador de las Operaciones de Cambio) は右貨幣中央統制官と協力して、爲替取引の實況情報を求め以て、命令されたる處置に爲替取引が調節されたるや否やを審査決定するものとす。

運用の實績

右中央貨幣統制方法に依る實績は極めて有望にして、統制實施の即日 に於て英貨磅とスペイン貨幣との爲替取引高は九百萬ベセタ以上に達し、しかも爲替相場は何等の上下を示すことなく安定を示せり。此形勢は以後引續きて維持され、海外の主要金融市場は引續きベセタ貨を需要しつゝあり。

八、スペイン大藏大臣ワイス氏の貨幣中央統制局設置に關する聲明

政府は吾國家經濟擁護の爲め、普及さるべき貨幣價值に實際適合する或一定の平價を持つる金本

爲替中央統備
の目的

位を吾國に確立せんが爲め、ペセタ貨の安定に必要な政策を逐次實行しつゝあるのであつて、之に對して如何なる批評あるとも、歐洲各國殆んど皆既にこの根本問題を解決せる間に在つて、吾國のみ獨り永らく未解決の状態にある事は、吾國をして不利益なる立場に置くものなる以上、政府は斯の如き政策を實行する事が國民全體の爲め、又一部の反對論者の爲めにも必要なりと確信するのである。則ち從來の爲替制度を改良し、爲替相場を規則的なる常態に導き、物價騰貴を防遏し、爲替状態を不安に陥らしむる所の投機的策動を阻止するの政策は、吾國民の利益の爲めに遂行せざるべからざる緊喫事である。

準備期間の必要

大凡總べての幣制改革なるものには法定に先んじて、或一定の相對的恒價若くは安定價値を求むる爲めの準備期間を必要とするのである。

從來吾國に於ける爲替取引の制度は常態を失したるものにして、同一貨幣の取引に對して、極めて複雑なる取引方法行はれ、爲めに爲替相場は明白なる需要に對しても反應せず、公定相場も其用を爲さず、殊に二ヶ年此の方は、思惑業者及び債權者の策動に依て大量のペセタ貨を海外より賣り出したるが爲めに、必然之は吾國貨幣相場をして落調に導き、絶へず吾國の經濟界を脅かし、進んでは通貨膨脹の不便をさえ吾國に生ずるに到つたのである。

故に斯の如き變態より吾國內國市場を脱せしめんには、爲替取引をば吾國家經濟に必須なるものみに制限する事が必要である。之が爲めには爲替取引を集中し、眞實なる爲替取引高を知る事

を要する。此目的を以て政府は先づ爲替の任意取引を禁止し、本日より一切の爲替取引は之を中央貨幣統制局を通じて行はしむるに到つたのである。

爲替取引弊害
の矯正

政府は本年七月十四日、八月十六日、二十二日並に九月六日附公布の勅令の規定する所と其精神に準據して、右中央貨幣統制局は、從來の吾國爲替取引よりも遙かに能率高く又私營銀行よりも遙かに誠實なる爲替業務の遂行を爲すものと確信するのである。

終局の利益

政府は又之等の方法が、過去に於けるが如くに吾國の財界の擾亂に悪用されざる事、並に從來爲替取引業に於て利益を營み來たりし者が、爲替取引の集中に依て蒙る犠牲は、終局に於て吾國の貨幣の健全化と安定化に依て得る最も大なる利便を以て報ひらるべき事を充分に確信するものである。

以上

スペイン國が内外爲替思惑業者の投機的策動に依て其爲替相場の暴落を來たせし事が、ペセタ貨激落の主要なる原因であることは前記スペイン現藏相の聲明に依て明かである。と同時に吾々はスペイン國が新平價採用への段階として必然行ひつゝある所のペセタ貨安定と爲替の中央統制の成行は、之を他山の石として大に研究し參考と爲す要ありと信するに依り、左に其後の實績情報を追記して此研究調査報告を終結すべし。

九、スペイン外國爲替中央統制事業の進捗と

諸外國新聞並に米國官憲の所見

爲替中央統制
事業の成功

スペイン政府發行の公報 (Informacion Espanola) の報する所に依れば (十月一日發行)

「中央爲替統制局は爲替統制に着手後三週を出でずして既に海外金融市場よりベセタ貨を漸次自國の中央貨幣統制局へ轉置するを得つゝあり、右は即ち既往の如く外國市場に於てベセタ貨が東縛せられざるに到れる事を示すと同時に、爲替統制局の手に依て既に或程度の爲替統制の實が擧げられ得つゝある事を實證するものである。既に思惑業者の如きも、英貨磅を保證金として差入れ且つ公定相場に何等の異議を唱ふる事無くしてベセタ貨の拂下げ要求に出でつゝあり、而して中央爲替統制官は續々統制業務を遂行し且つ、取引毎時に於ける適確なる計算に基き英貨磅の現金を以てのみベセタ貨爲替の交付を爲しつゝあり。

爲替思惑業者
の征服

此實績を以て見るに、海外金融市場に於てはベセタ投機業に對する不安觀を抱くに到りたるが故に、中央爲替統制局は今後大なる困難無くして漸次爲替市場を支配し得べし。斯くして間もなくベセタ貨に不利益なる策動の大部分を減少し、以て吾國重大問題の大部分を征服し得べし。爲替中央統制官の手許に於て取扱はれつゝある所の外國貨幣高は今や常態を示し、着手初頭の數日に於けるが如き異常なる需要無し。

英國フアイナンシャルタイムスの論評

中央爲替統制
事業の進展と
新平價點の發
見

スペイン中央爲替統制事業の成行を觀察して同紙は次の如く其社説に於て論評してゐる。
ス。ペ。イン。國。に。於。ける。爲。替。の。中。央。統。制。事。業。は、所。謂。「。政。府。の。統。制。」。な。る。も。の。に。隨。伴。す。る。所。の。諸。種。の。危。險。を。ば。其。最。小。限。度。に。ま。で。減。少。せ。る。も。の。な。り。と、吾。人。は。今。日。ま。で。の。經。過。よ。り。判。斷。す。る。こ。と。が。出。來。る。而。して。又。ス。ペ。イン。爲。替。統。制。局。事。業。が。遂。に。結。果。す。べ。き。所。に。關。して。は。未。だ。之。を。云。々。す。る。に。時。期。尙。早。で。あ。る。が、今。日。の。と。こ。ろ。右。統。制。局。に。於。て、ス。ペ。イン。が。採。用。す。べ。き。眞。實。な。る。新。平。價。點。へ。の。追。求。既。に。始。ま。れ。り。と。見。る。こ。と。が。出。來。る。
ス。ペ。イン。中。央。銀。行。が。解。禁。斷。行。用。に。充。當。し。得。べ。き。充。分。な。る。金。準。備。を。有。す。る。事。は。注。目。に。値。す。る。こ。と。で。あ。つ。て、斯。く。豊。富。な。る。正。貨。準。備。を。有。し。且。つ。そ。れ。が。能。く。維。持。さ。れ。來。たり。又。取。扱。れ。來。たり。た。る。こ。と。に。依。て、吾。人。は。ス。ペ。イン。に。於。ける。現。下。の。難。局。は。決。して。長。く。續。く。も。の。に。あ。ら。ず。と。見。る。も。の。で。あ。る。

米國官憲のスペイン爲替統制事業に對する觀察

大統領フーバー氏の組織せる國家經濟會議の發行にかゝる世界經濟問題實情の研究誌上に於て米國の財政通ジュリアス・バーンス氏 (Julius H. Barnes) がスペイン國ベセタ問題に付て其意見を記述して居る所に依れば

「スペインペセタ貨は未だ安定し居らずと雖も、スペイン國に於ける商工業状態は一般に益々良好となり、石炭の産出高は増加し、農業状態又良好にして、收穫量は年々増加してゐる」と明言してゐる。

井上蔵相は上記述せる事實の前にも尙自らの淺見を以て正しと爲すや、詩に云ふ「山に入る者は山を見ず」と。吾人は現今の如き吾國の經濟的重大時期に臨んで、「世間知らずの高枕」的政見を一國の蔵相たる者が固執するの非を責め、併て國民に向ひ現政府財政方針の誤れる事を訴ふる所以である。

附 録

一旦金解禁を行ひ其後金輸出再禁止を行ひたる 南米アルゼンチンの經濟事情に就て

アルゼンチン共和國は英米にならつて舊平價の金解禁を斷行した國であるが、其後世界的不況殊に英米二國に於ける大不況の影響と對外的物價率の増加と相俟つて輸出（農産物のみなり）減少し、工業品の輸出國たる同國は茲に輸出入の大なる不均衡を生じ、正貨の流出甚だしきに到りし爲め、遂にアルゼンチン政府は一九二九年即ち昨年十二月を以て金の輸出再禁止を行つたのである。アルゼンチン國は農業國であり且つ其國家財政はスペインの如く豊富にあらず、加ふるに近年政界の擾亂甚だしく革命戰を演じ混屯たる有様にあるを以て、其經濟界に及ぼす政治的影響は國內的にも亦國際的にも極めて甚だしきものあり、從て斯國の實況を以て他を押すことは當らずと雖も同國は金輸出再禁止を行へる國として、如何なる經濟的影響をその爲め生せるかを茲に參考の爲め記述せんとするものである。

先づ結論を言へば、
アルゼンチンの如き政治的不安裡に在り、且つ其國家財政窮乏を告げ居る國に於て行はれた金

アルゼンチン金壹ペソに対する諸國電信爲替相場

	平 價	金 輸 再禁止					
		1929年 6 月	1929 9 月	1929 12 月	1930年 3 月	1930年 6 月	1930 9 月
ス ペ イ ン	5.-	6.74 $\frac{1}{2}$	6.43 $\frac{1}{2}$	6.96	6.97	7.04	39.68△
ロ ン ド ン	47.6190	47 $\frac{9}{32}$	47 $\frac{1}{8}$	45 $\frac{3}{4}$	43.00	39 $\frac{5}{8}$	
ニ ュ ー ヨ ーク ※	103.6400	104.75	104.85	107.50	114.90	124.60	
パ リ ス	24.6244	24.38	24.32	23.62	22.26	20.43	
イ タ リ ー	18.3307	18.24	18.21	17.77	16.64	15.31	
ス キ ッ ツ ル	5.-	4.95 $\frac{3}{4}$	4.94 $\frac{1}{4}$	4.78 $\frac{3}{4}$	4.50	4.14	
フ イ ツ	4.0486	4.00 $\frac{1}{2}$	4.-	3.89 $\frac{1}{2}$	3.65	3.36 $\frac{1}{2}$	
ペ ル キ ー	6.9385	6.87	6.85	6.65	6.24	5.74 $\frac{3}{4}$	
オ ラ ン ダ	2.4001	2.37 $\frac{3}{4}$	2.37 $\frac{1}{2}$	2.30 $\frac{1}{2}$	2.15 $\frac{3}{4}$	1.99 $\frac{1}{2}$	
ブ ラ シ ル	8.0645	8.030	80.20	8.500	7.340	7.120	
		△ 9月23日 40 $\frac{3}{8}$		9月30日 39.68			
		10月21日 38 $\frac{22}{23}$		10月28日 38.06			
		11月 4日 38.78		10月11日 38.58			

※米100弗に対するペソ貨

△變動の甚だしからざるのみならずむしろ安定的なるを見よ。

輸出再禁止は何等斯國に經濟的激變を生めるものにあらざる事、外國爲替は再禁止以後六ヶ月間に漸次二割方迄下落せしが以來何等の著しき落調を示さず、本年十一月に到るも其爲替は安定に近き極めて僅かの上下を示すのみである。故に若しアルゼンチン國の國家財政にしてスペインの如く豊なる金準備を有するならば、適當なる爲替安定點に於て新平價を採用することは容易であると思はれると同時に、スペインの如く特殊原因なくアルゼンチンの如き財政的欠點無くんば、金輸出の再禁止その事に依て爲替は著しく下落するものでないと思はれる。又金輸出再禁止を行ひたるアルゼンチン國の商況は、禁止後の上半期に於ては鈍調を示せるも後半期に及んでは漸次好轉の徴を呈し、別記マンチエスターガーデアン紙のアルゼンチン駐在通信員の報告が示す通り速かに景氣回復の徴候を現はしてゐるのである。

以下金輸出再禁止後に於けるアルゼンチン國の(1)正貨準備狀態(2)外國爲替相場の變動(3)株式證券市況に付て列記せんに、

(1) 金輸出再禁止後に於けるアルゼンチン爲替相場の變動狀態

(2) アルゼンチン國の正貨準備状態

アルゼンチン國は一九二九年十二月金輸出の再禁止を行ふと同時に、其中央兌換局 (Caja de Conversation) は紙幣の兌換を停止せるが、其發行紙幣に對する金準備は次の通りである。

金準備高 四四三、二五九、七五七 金ペソ
在外公館保留正貨 六、五五二、〇〇〇 同
アルゼンチン中央銀行保留兌換資金 三〇、〇〇〇、〇〇〇 同

右合計發行紙幣保證用金準備高 四七九、八一七、七五七 同

右正貨準備に對して中央兌換局が發行せる紙幣高は紙幣ペソ價に於て一、三一五、三一七、六七九(紙幣ペソ)であつて、一紙幣ペソに對する金ペソ四四の割合を以てすれば兌換金準備率は八二・九一%に相當するのである。

右はスペインに於ける不換紙幣一〇〇ペセタに對して一〇〇ペセタの金準備あるに比しては極めて貧弱なる正貨準備なりと言はざるを得ないのである。

(3) 株式及證券市場の状態

以上の如き窮乏せるアルゼンチンの財政状態なるに拘はらず又、金輸出再禁止ありたるにも不
拘、アルゼンチン國に於ける株式證券市場の取引は比較的良好にして常態を逸せず政府公債、市
債并に株式共に其市價を維持してゐるのである。

金輸出再禁止後に於ける公債、株式、證券相場の変動

	金輸出再禁止				
	1929年 7月	1929年 9月	1929年 12月	1930年 3月	1930年 6月
政府公債	98.	—	98.	—	98.50
5分利	100.10	100.	95.50	98.50	100.
6分利	98.10	98.60	94.50	97.20	98.20
6分利鐵道公債	101.—	99.50	99.—	—	99.80
ナショナル、モル ンケバンク株式	99.60	97.60	—	97.50	—
ブエノスアイレス 市債 A	99.80	—	97.	95.—	95.—
” B	98.—	96.60	—	—	98.—
” C	—	—	—	—	—
ブエノスアイレス 地方銀行社債	102.	100.50	99.	98.80	100.
バンコイタリア、イ、 リオ、デ、ラプアタ株	額面100 1930年4月-6月ニ到ル最高-最低相場 max-130 Minimum 130				
アルゼンチン製糖 會社株	100	”	103	”	103

最後に吾人はアルゼンチン國の經濟好轉に關する英國マンチエスターガデアン紙ブエノスアイレス通信員の報告(十月十七日附)

『アルゼンチン國景氣の好轉』

敏速にして健全なる商況の回復』

と題したる通信の概要を左記すべし

アルゼンチン國の實業界は九月六日の革命以來一般に強調なる好轉を爲しつゝあり。主要なる輸入業は過去二ヶ月間尙鈍調を續けおれども、十一月末或は其以前に到らばアルゼンチン商況は一般に健全なる好轉を起すと觀るに確實なる證左がある。即ちアルゼンチン國の財界及商業界の實勢は健全であつて、一般の海外市場よりも遙かに充實したる購買力を有するからである。アルゼンチン國の貿易尻は、世間の憂ふるが如くに逆調にあらず。爲替投機業者の策動と併せて南米諸國に於ける革命的動亂に起因して誇張的不安の念が海外に生じ爲めにア國爲替の相場に影響を來たしつゝあるに過ぎないのである、と報じてゐる。

尙吾人は所論の公平を期するためブエノスアイレス市に於ける最も權威ある金融會社エルネスト・トルンキスト會社刊行のアルゼンチン實業狀況報告に依て(Business Conditions in Argentina. Report No. 187. July 1930.)同國經濟狀況の一般を概記すべし、右報告はア國の經濟概況を要約して次の通りに報じてゐる。

『アルゼンチン國經濟概況』(一九三〇年七月)

アルゼンチン國の經濟狀況は以後落ち着いて居り商業取引は制限され、内外取引共に減少を續けてゐる。

國家財政に於ては歳入の減少を示し、ペソ貨は落調を續け主要國產品の輸出困難の中にも行はれ、穀類の輸出は最少限度に行はれ、羊毛の輸出は稍々増加したるも値段は安し、肉類の輸出は相當満足的である、手形交換高は減少し思惑業者の破産は尙惹起してゐるが、銀行取引常態に在り、金利不變、株式市場手堅く、只取引高の減少を見るのみである。

と報じてゐるが、右はアルゼンチン國が金輸出再禁止後六ヶ月迄の現況を報じたものであつて以後の情況は前記マンチエスターガデアン紙通信員所報の通りである。

右に依て見るに金輸出再禁止後のアルゼンチン國の經濟狀況は、其政治的動亂、投機業者の策動並に海外信用の不安等に依り、直ちに良化してゐないが、爲替そのもの、低落は著しからずして最低二割の程度の落調に過ぎず、而して、若しア國の金準備にして新平價採用の準備に充分であり、スペインの如く爲替思惑業者の取締を爲すに爲替の中央統制を行ふが如き巧妙なる財政金融方針を取るを得しならんには尙速かに爲替安定と商況の回復を來たせしならんと思惟される。

然かしながらアルゼンチン國の金輸出再禁止は既に、財政的行詰りと多大なる正貨流出を見て、國內正貨準備の欠陥を生せしに到つて行はれたるものであるから、其作用は極めて遅々たる

ものがあるのは當然であると言はなければならない。手術も手遅れをすると恢復が困難である。吾々は吾國現在の經濟的状況を見て、若し現内閣の經濟政策が續行されたら吾國の財界は漸次彼のアルゼンチン國同様の破目に陥るか、又は今日の如き極端なる不況のまゝ、何年も経過し世界の經濟戰は勿論隣國支那に對しても敗者の地位に立たねばならぬと憂ふるものである。

金輸出再禁止國濠洲の經濟政策に對する井上藏相の感違ひ

(雜誌「經濟智識」に掲載せる武藤會長の寄稿)

藏相の一大錯覺

井上藏相は貴誌前號に濠洲の財政經濟難の事情を述べ、其原因を同國政府の採つた金輸出再禁止に依るが如く讀者に示し一面に於て自己の行つた舊平價解禁を辯護する資料とし、他の一面に於て昨今我國に於て問題となれる金輸出再禁止爲替引下げ又は新平價切下げ論に對し反駁の材料に供せられました。私は之を通讀しまして、我國に於ける金解禁の如き重大なる經濟問題研究資料として、井上藏相が單に濠洲の經濟事情を引用せられたのは讀者を惑はす恐れあるを以て、左

に濠洲の政情を述べて井上藏相の考へらるゝのと違つて、濠洲の經濟事情と金輸出禁止とは全く關係の薄いものであることを示しませう。

井上藏相は巧なる料理人がつまらぬ材料でも、うまくあしらつて美味らしく食べさせる様に見當違ひの他國の例を巧妙に引用して自説を尤らしく讀者に受け入れさせる技量の持主であります。故に稍々もすると井上藏相の論文を讀んだ人々は誤つた方向へ引張つて行かれる恐れがありますから、此度の氏の論文に就ても一通り説明を加へて讀者の判斷を誤らせない様にせねばなりません。

井上藏相は最初に色々と濠洲の經濟事情を説いて居られますが、濠洲最近の政情に就ては全く説明して居られませぬ。これは研究の足りない爲とも思はれますが、之を明かにすると自説に不利な爲巧に避けたものと思はれます。濠洲の歴代内閣經濟政策は、井上藏相の想像と違つて穩健着實のものであります。これは何んの爲であつたかと云へば、現内閣の成立するまでは絶對過半数を占むる内閣はなかつたからであります。

濠洲には國民黨、地主黨、勞働黨の三つの政黨がありました。從來久しく濠洲の政局は國民黨に依つて左右されました。處が何時も地主黨がカスチングボートを握つて居りましたから井上藏相の推量された様な横暴な政治や放漫な經濟政策は行はれませんでした。濠洲政府は常に親英本國政策を採り、英國政府にも倫敦の金融界にも非常に好評でありました。然るに茲に濠洲にと

り不幸な政變が起つた結果が濠洲の財政經濟を紊したのでありまして、井上藏相が此の政情を無視して、同國の經濟政策の失敗が金輸出再禁止に原因して居る様に讀者をして信せしめんとせられたのは、詭辯に非ずんば一大錯覺であります。

これよりその然る所以を詳述しませう。

濠洲の窮況は労働党内閣の責任

以上述べました様に濠洲の歴代内閣の財政經濟政策は決して放漫なものではありませんでしたが、千九百二十九年即ち昨年（一九二九年）の總選舉に於て、労働黨が過半数を得た爲内閣は更迭し、スカーツンを首相とせる純労働黨内閣が政權を握るに至りました。茲に同國の政治經濟事情が著しく不良化することゝなつたものであります。濠洲の労働黨は英國の労働黨と異り、共産的分子が非常に多く、極端な社會主義を奉じて居ることは私の説明するまでもなく世に知らるゝ處であります。斯る過激な主義政綱を奉ずる労働黨、それは地主や企業家や資本家の利益などと云ふことは全く眼中にない政黨が濠洲、其處には英本國の大資本が年々投資されてゐる濠洲全土の政權を握つたのでありますから、それだけで英國の金融界が俄かに一大不安に襲はれるに至つたのは當然であります。

またそれだけでない此労働党内閣の藏相となつて、濠洲の財政と經濟とを其手に司つた人物は後

に示す様にテオドールと云ふ如何はしい政治家でありました。藏相テオドールは濠洲聯邦中最も共産主義の旺盛なクキンスランド洲政府の前首相であつて、猛烈な共産主義者であります。クキンスランドの首相であつた間に、彼はクキンスランドの殆んど凡ゆる産業を國營化してしまひました。例へば同洲の砂糖業、牧畜業、鑛山業、屠牛業、漁業等は皆テオドールに依つて國營に移され、而も其後は一錢の収益をも擧げ得ないやうにした實に厄介千萬な亂暴者であります。

斯る政治家が突如として濠洲聯邦政府財政の鍵を握つたのでありますから、濠洲の經濟狀態の前途に對し、英國の銀行家投資家が大不安に驅られ出したのは云ふまでもなく、明らかなことであつて、彼等が既往並に現在又將來の投資に就て如何に大なる危懼の念に襲はれるに至つたかは察するに餘りあることであります。井上藏相がかかる政情の下に發生した濠洲の經濟狀態を拉し來つて、金輸出禁止の結果に歸さうとせらるゝは巧妙ではあるが、畢竟一種の詭辯に過ぎない。濠洲の如き世界的不況の影響を最も深刻に蒙つた農産品の輸出國が、金輸出再禁止を行つたことは當然の處置であつて、之れが爲同國の經濟狀態が不利に陥つたのではありませぬ。

共産主義者のテオドール藏相

若し金輸出再禁止が以前の國民黨政府の手に依つて行はれたならば英國の銀行家、投資家は非常の場合に處する一時的な方法として何等意に解しなかつたのでありませう。

何故なれば金輸出再禁止に依つて毫も外國の投資家は危険を感ずる必要はないからでありませぬ。然るに英本國の投資家が驚き騒ぐに至つたのは、共產主義者たるテオドル・藏相の手に依り労働党内閣が金輸出再禁止を行つた爲であります。獨り英國投資家のみでなく國內の經濟状態が大不安に陥つたのは金輸出再禁止でなく、共產主義的政黨が其局に當り、加ふるに其財政當局者が札付きの人物であつて何を仕出かすか分らぬからであります。藏相テオドルの不正人物たることは其就任後間もなく、彼がクキンスタンド首相時代の大瀆職事件が暴露し取調べの結果、彼はクキンスタンド首相時代鑛山の國營を行つた際に、其買収費を着服した罪狀が明らかとなりました。彼は最近辭職し、今は首相スカーリンが藏相を兼務してゐます。

亂暴な經濟政策

かかる次第でありますから、英國の投資家や銀行家が恐怖の念に堪へられず、遂に現英蘭銀行取締役の一人であり、前英國國庫省府副大臣であつたサーオット・ニーマイヤー氏を派遣して濠洲政府の「財界立直し」顧問とするに至つた所以であつて、何も濠洲の不良なる經濟状態が金輸出再禁止から起つたと云ふ爲ではありません。

更に此點に就て井上藏相の誤解を明らかにし讀者の參考に供する爲現濠洲政府の行つた亂暴な經濟政策を一通り述べることにします。

昨年十月議員總數七十名中四十八名と云ふ絶對多數を占めた労働党内閣は、資本家や企業家や地主等の犠牲には何等頓着するところなくして、續々社會主義乃至共產主義的政治を斷行しました。その結果國費は膨脹し加ふるに勞銀は絶對引下げ相ならぬと聲明した爲、生産費は下しない、之れに加ふるに極端な關稅保護政策を行つたから二重に生産費を増加し、輸出は減退し、國內は不況を極むるに至りました。その結果として歳入は不足を告げ、之れを補ふ爲數箇月間に實に次のやうな大課稅政策を止むなく斷行するに至りました。

- 一、關稅の増率を三回行つた
- 二、更らに一般輸入税と稱して有稅品も無稅品をも問はず一率に二分五厘總ての輸入品に課した（輸入總額十六億圓とすると其年額約四千萬圓に當る）

眞相を究めない無造作振り

去る八月一日から物品販賣税を課するに至りました。之は一種の消費税であつて、濠洲全體の商人を登録商人と非登録商人に分ち、登録商人から非登録商人へ販賣する品に對し一率に二分五厘の課税を行ふ、即ち輸入商や問屋は登録商人でありますが、百貨店や一般小賣商人は非登録商人とされるのであります。（但日用品と原料には課税せず此歳入見込六千二百萬圓）

以上の如き非經濟な政治を行つたのでありますから、自國經濟界が苦境に陥るは論なく、尙其

國同調査資料パンフレット

財界動搖善後策早わかり <small>(歐米恐慌對策實例十一モラトリアム略例)</small>	菊二五頁	十錢
諸外國銀行監督及預金者 保護に關する法制參考資料	菊三二頁	二十錢
世界の生糸及人絹調査資料	菊四六頁	二十錢
農村振興としての蠶糸業根本救濟策	菊六〇頁	二十錢
財界振興即効案 <small>(不始末たる政府預金の整理によつて)</small>	菊二六頁	十錢
大藏省伏魔殿預金部内容 <small>(附英佛大藏省預金部の制度)</small>	菊二八頁	十錢
ブラジル事情	菊六一頁	二十錢
軍人優遇論	四六八頁 一七〇頁	三十錢
國家に貢獻するものは少数黨か多數黨か	菊一六頁	十錢
歐米各國に於ける公民教育制度	菊五四頁	二十錢
我國勞働時間季節的調節案 <small>(我國工場法改正の必要)</small>	菊五八頁	二十錢
社會より見たる新聞の使命	菊六六頁	二十錢
保健上より見たる深夜業廢止と其限界點に就て	菊八〇頁	三十錢
歐米に於ける市政淨化運動	菊五三頁	二十錢
都市計畫の一般智識	菊五五頁	二十錢
佛蘭西好景氣の研究	菊一五頁	十錢
英國不景氣の研究と對策	菊一四頁	十錢
マンチエスター商人の舊平價金本位制撤廢運動	菊一一頁	十錢
歐米に於ける大規模商店に對する小規模商店 の對抗競争實策	菊五九頁	二十錢
金と物	四六三頁 三二頁	十錢
金解禁やり直し反對論總まくり	四六三頁 三六頁	十錢
金輸出禁止國スペインの經濟事情	菊三九頁	二十錢

昭和六年一月十日印刷 昭和六年一月十五日發行
 編輯兼發行人 大藏市南區御谷仲之町五六 國民同志會調查部代表者 八木幸吉
 印刷所 大藏市西區阿波座二番町一 日本印刷製本株式會社
 發行所 大藏市南區御谷仲之町五六 國民同志會
 東京市麹町區永田町2ノ1 國民同志會
 郵政省認可大阪67591 郵政省認可東京65225

上に社會主義的、共產主義的の極端な社會政策を續々と行つたから國費は膨脹し、經濟界は擾亂されることは當然の結果であります。然るに井上藏相は單に數字的に現はれた事實を以て、其依つて來たる真相を究めず、金輸出再禁止のためであるが如く結論せられたる其無造作振りには驚くの外ありませぬ。

手前勝手な論法

又英國の理財團や銀行業者を背景とする財政顧問ニーマー氏が、緊縮政策を勸告して居るのは現在の濠洲政府及各洲政府が社會主義的政策を實行して過度に政費を膨脹せしめて居るのを緊縮させ様とするので、これを引用して我國も益々緊縮政策を行ふべきであるなどと、井上藏相が己れの財政經濟政策支持の材料とせらるゝのは餘りに手前勝手な論法であります。私は猥りに井上藏相を攻撃せんとするものではありません。藏相の誤解を説いて其反省を求むることはこれが公人の立場上當然爲すべき義務であると信ずるからであります。

終